

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。

2. 会計方針の変更

変更なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	8,500,000	0	0	8,500,000
小 計	8,500,000	0	0	8,500,000
特定資産				
退職給付引当特定資産	1,000,000	0	0	1,000,000
小 計	1,000,000	0	0	1,000,000
合 計	9,500,000		0	9,500,000

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	8,500,000	0	(8,500,000)	—
小 計	8,500,000	0	(8,500,000)	—
特定資産				
退職給付引当特定資産	1,000,000	0	(1,000,000)	—
小 計	1,000,000	0	(1,000,000)	—
合 計	9,500,000	0	(9,500,000)	—

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 格	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
什器備品（事務器）	177,450	177,449	1
合 計	177,450	177,449	1